

環境通信 第20号 (3月号)



令和5年3月発行 (年4回発行) ・発行元：大分市環境対策課・地球温暖化対策おいた市民会議

『うちエコ診断』をご存じですか？

アスマるくんとみらいさんが「省エネ・節電」について話しているようです。その様子をのぞいてみましょう。



みらいさん

…環境問題に関心がある社会人

アスマるくん

…大分市地球温暖化防止キャラクター
「地球(アース)の明日(あす)をまもる」ため、大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策にくわしい

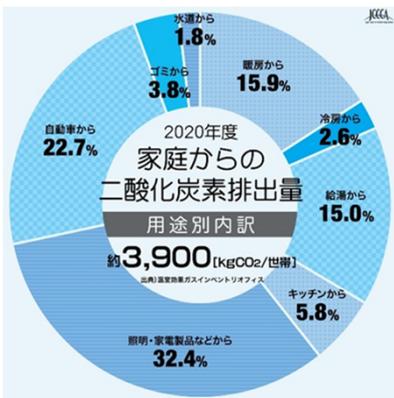


今年の冬は、省エネ・節電に取り組んだよ。がんばったつもりだけど、どれくらい効果があったのかな？もっと家庭で取り組めることはないかなあ？



ライフスタイルは人それぞれ。どんな取組が効果的かを自分で考えるのは、なかなか難しいよね。何かいい方法はないかな・・・。

それなら、僕、「エコ助」に任せて！
専門知識をもった「うちエコ診断士」が
アドバイスしてくれる『うちエコ診断』
を紹介するよ！



家庭からの二酸化炭素排出量と消費するエネルギーには密接な関係があります。全国的な傾向では、1位は照明・家電製品です。今電気代が高いので気になりますね。
他にも、自動車、暖房、給湯の順に二酸化炭素の排出が多いようです。
日本国内の平均はこのようなになっていますが、北は北海道から南は沖縄まで、国内でも土地柄によって状況は様々です。
自分の暮らしはどうなのか、知りたいと思いませんか？

無料の『うちエコ診断』で電気代の削減にチャレンジ！



『うちエコ診断』は環境省が推奨する制度です。



『うちエコ診断』では、地球環境や省エネに関する幅広い知識を持った環境省認定の「うちエコ診断士」が、専用のソフトで家庭の二酸化炭素排出量を可視化して、ライフスタイルに合わせた削減方法を提案してくれるよ！

1. お申込み



各家庭から診断機関にお申込み

2. アンケート



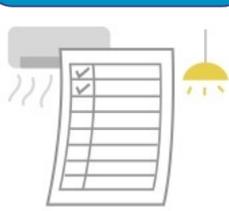
各家庭の家族構成・光熱費など情報の提出

3. 診断



診断士と対面またはWebで診断

4. 事後調査票回答



対策結果をチェックし診断実施機関へ返送

『うちエコ診断』のポイント！

- ① 診断に費用はかかりません。(無料)
- ② 家庭の二酸化炭素排出量がどれくらいか、県内の平均と比較してもらえます。
- ③ どの家電がエネルギーを多く消費してるかが、数値で可視化されます。
- ④ 具体的な改善策の提案を受けられるので、省エネ・節電に効果的に取り組むことができます。

☆『うちエコ診断』のお申込みはこちらから



お問合せのメールアドレス
utieco@future-beppu.jp
HP <http://future-beppu.jp/utieco> 大分県うちエコ診断センター

おサイフと地球環境にやさしい省エネライフをスタートしてみませんか！



☆自己診断できる『うちエコ診断WEBサービス』はこちらから

HP <https://webapp.uchieco-shindan.jp/>



裏面につづく





『うちエコ診断』を受けたら、色々な改善アドバイスをもらえたよ！うちでは高効率な給湯器への交換が効果的だって。でも、お金がかかるよね。

家庭での省エネの推進には、国をあげて取り組んでいるところだよ。『住宅省エネ2023キャンペーン』が始まるから、見てみよう！



住宅省エネ2023キャンペーン



「住宅省エネ2023キャンペーン」は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上や高効率給湯器の導入等の住宅省エネ化を支援する新たに創設された3つの補助事業の総称です。

● 補助対象

下表における、新築は住宅の取得者、リフォームは工事の発注者が対象です。
住宅は戸建住宅、共同住宅等・集合住宅の別を問いません。

補助事業	新築	リフォーム	交付申請の予約
① こどもエコすまい	持家※	持家、賃貸等	可
② 先進的窓リノベ	対象外	持家、賃貸等	可
③ 給湯省エネ	持家、賃貸等	持家、賃貸等	可

※子育て世帯、若者夫婦世帯が取得する場合に限る。1世帯1回まで申請可。

● 補助額（補助上限）

下表の補助額について、上限の範囲で申請できます。
上限の範囲内であれば、複数回の申請も可能です。

	新築の補助額 (上限)	リフォームの補助額 (上限)
① こどもエコすまい	100万円/戸 (1申請/戸・世帯)	工事内容と世帯属性に応じて、5万円※～60万円/申請 (世帯等属性に応じて30万～60万円/戸)
② 先進的窓リノベ	対象外	工事内容に応じて、5万円～200万円/申請 (200万円/戸)
③ 給湯省エネ		設置する給湯器に応じて、5万円または15万円/台 (戸建：2台/戸 共同住宅等：1台/戸)

※②③の補助を受けている場合2万円。

● 交付申請期間（予定）

各事業の詳細は各補助事業の専用ページでご確認ください。

交付申請期間

2023年3月下旬～予算上限に達するまで
(遅くとも2023年12月31日まで) ※

※いずれの事業も、締切は予算上限に応じて公表します。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください！

<https://jutaku-shoene2023.mlit.go.jp/>



給湯省エネでは「エコキュート」や「エネファーム」の設置に補助が受けられるんだ！
これを機に、もっと省エネに取り組みたいな！